

平成30年度埼玉県南4市まちづくり協議会総会概要

日 時：平成30年5月7日（月）14時～

場 所：草加市文化会館 3階 第1会議室

参加者：別紙、総会出席者名簿・各市担当者名簿参照

●会議概要（敬称略）

（14：00）定刻開会

1 開 会 草加市 益田課長

2 あいさつ （1）会 長 奥ノ木 川口市長あいさつ

（2）副 会 長 田中 草加市長（開催市）あいさつ

（3）顧 問 切敷 草加市議会議長（開催市）あいさつ

※各副会長紹介（紹介順は名簿のとおり）

各顧問紹介（紹介順は名簿のとおり）

3 議 事

（14：18）

奥ノ木会長 それでは、これより規約の定めにしたがい、暫時 議長を務めさせていただく。協力のほどよろしく願います。

議案第1号 「役員の選任について」

奥ノ木会長 まず、議案第1号「役員の選任について」事務局より説明をお願いします。

事務局長 総会資料2ページをご覧ください。役員の選任について、説明させていただきます。

これは、協議会規約の抜粋であるが、第6条にあるとおり、会長以下、役員の任期は1年となっている。

このことから、本年度の役員の選任をお願いするものであるが、第4条の規定に基づき、会長1名を構成市の市長の互選により定めること、副会長は会長の属する構成市以外の市長3名を充てること、そして監事2名は、構成市の副市長から総会の承認を得て、会長が委嘱することとなっている。

なお、現在、会長は川口市長、副会長は草加市・蕨市・戸田市の各市長、また、監事については、本来、草加市、戸田市の副市長2名でお願いしているところであるが、戸田市の副市長が不在となっていることから、現在1名欠員という状況になっている。

説明は以上である。

奥ノ木会長 会長の選任については、いかがするか。

田中副会長 引き続き会長は川口市長にお願いしたい。

奥ノ木会長 ただ今、川口市長に会長との意見があったが、いかがか。

異議なしとの声あり

奥ノ木会長 ご異議がないようなので、平成30年度の会長は、引き続き川口市長、副会長には草加市、蕨市、戸田市の市長とさせていただきます。

また、監事については、事務局説明のとおり草加市副市長と戸田市副市長にお願いしたいと思うが、現在、戸田市の副市長が不在ということであるので、戸田市については、副市長が決まり次第、監事を引き受けていただくということではいかがか。

異議なしとの声あり

会長	川口市長	奥ノ木 信夫
副会長	草加市長	田中 和明
	蕨市長	頼高 英雄
	戸田市長	菅原 文仁
監事	草加市副市長	中村 卓

で承認

奥ノ木会長 異議なく承認されたので、1年間よろしく願います。

奥ノ木会長 引き続き会長に推挙いただいたので、あらためて議事をすすめさせていただきます。

次に、議案第2号「平成29年度事業報告について」及び議案第3号「平成29年度歳入歳出決算の認定について」は関連しているので、一括議題といたし、協議会の運営については、事務局から説明を、専門部会の活動については、各専門部会の部会長及び地域情報化推進連絡会議会長からそれぞれ報告をお願いします。

議案第2号 「平成29年度事業報告について」

事務局長 総会資料3ページをご覧ください。平成29年度事業報告について、説明させていただきます。

1 運営の（1）会議であるが、①の第1回幹事会は、平成29年5月11日に蕨市民会館で開催し、内容は記載のとおりである。

②の幹事会・専門部会合同会議は、第1回幹事会の後に同会場で開催し、内容は記載のとおりである。

③の総会は、平成29年5月26日に、同じく蕨市民会館で開催し、内容は、役員を選任、平成28年度の事業報告及び歳入歳出決算、平成29年度の事業計画案及び歳入歳出予算案について、審議いただいた。

④の第2回幹事会については、平成30年3月27日に、川口市人財育成センターで開催し、内容は記載のとおりである。

事務局からの説明は以上である。

奥ノ木会長 続いて、教育文化スポーツ専門部会長、願います。

教育文化スポーツ専門部会長

平成29年度の教育文化スポーツ専門部会の事業について、ご報告申し上げます。

お手元の資料、4ページをご覧ください。

はじめに、①の「専門部会」の開催については、昨年8月24日に、草加市役所において、第1回の部会を開催し、平成28年度事業報告、歳入・歳出決算、平成29年度事業計画及び歳入・歳出予算の報告、並びに開催する事業の詳細についてご審議いただき、了承いただいた。

また、今年3月13日に、草加市役所において、第2回の部会を開催し、平成29年度事業報告（案）、歳入・歳出決算（案）、平成30年度事業計画（案）及び歳入・歳出予算（案）についてご審議いただき、了承いただいた。

次に、②の「視察研修の実施」については、今年2月8日に国立スポーツ科学センター及び味の素ナショナルトレーニングセンターの視察研修を実施した。両センターの充実した研究施設や各練習施設等を視察し、施設整備等、今後のスポーツ振興に寄与することを目的として4市の職員計10名が参加した。

次に、③の「少年野球教室」については、昨年12月3日に、ヤクルトスワローズ戸田球場で、少年野球チーム選手159名、指導者88名、保護者48名の総勢295名が参加し、開催した。当日は、東京ヤクルトスワローズ及びつばめスポーツ振興協会のご協力をいただき、子ども達には「野球に関する知識や技術」、指導者には「効果的な指導方法」などの講習を行った。併せて、当日は、保護者を対象に、埼玉ヤクルト販売株式会社代表取締役社長で医学博士でもある山下直哉氏による「子どものからだセミナー」の講習会を開催した。

平成29年度事業報告は、以上である。

奥ノ木会長 続いて、商工振興専門部会長、願います。

商工振興専門部会長

商工振興専門部会から平成29年度の事業報告を申し上げます。

総会資料の5ページをご覧ください。はじめに、専門部会については、2回

開催した。第1回専門部会は、7月20日、蕨市のチャレンジレストラン「クアッカ」にて開催し、平成29年度県南4市まちづくり協議会総会の報告、平成28年度事業報告及び歳入歳出決算、平成29年度事業計画及び歳入歳出予算について、それぞれ報告を行った。さらに、各市の商工振興施策・課題について意見交換を行い、その後、蕨市から飲食店の経営が体験できる「クアッカ」の施設概要について説明いただいた。

第2回専門部会は、10月3日、蕨市役所にて開催し、地域振興PRイベント及び視察研修について協議を行った。

次に、地域振興PRイベントについては、10月27日、川口市で開催された「川口市産品フェア2017」の会場内に、県南4市PRイベントブースを設け、各市の地場産品や特産品の抽選会や販売等を行い、多くの来場者に、県南4市の紹介と各市の地場産品を広くPRした。

次に、視察研修については、2月20日に、空き店舗対策事業の先進事例である東京都墨田区「鳩の街通り商店街」と、墨田区の特産品やものづくりを紹介している「産業観光プラザすみだまち処」の視察を行った。「鳩の街通り商店街」では、商店街主導の創業支援や空き店舗対策の成功事例を伺い、今後の商店街運営の参考とすることができた。「すみだまち処」では、墨田区における地域ブランド戦略を視察し、地域の特産品のPR方法やインバウンド対策について情報収集を行った。両視察を通じ、各市の商工振興施策の参考とすることができた。

報告は以上である。

奥ノ木会長 続いて、都市計画専門部会長、お願いします。

都市計画専門部会長

都市計画専門部会から平成29年度の事業報告を申し上げる。

総会資料5ページをご覧ください

まず、第1回専門部会を平成30年1月17日に、川口市役所において開催した。

当日は、平成28年度事業報告・決算について、平成29年度事業計画・予算についてご審議いただき、承認をいただいた。その後、日本大学理工学部教授 轟朝幸氏を講師に招き、「パーソナルモビリティを活用したまちづくり」をテーマに講演会を開催し、情報交換等を行った。参加者は草加市3名、蕨市2名、戸田市1名、川口市8名の合計14名であり、さまざまな事例をもとに、パーソナルモビリティの現状と展望について、交通まちづくり施策について新たな視点から検討することができた。

次に、第2回専門部会を2月16日に、同じく川口市役所において開催した。当日は、「都市計画にかかる受付事務処理等に関する意見交換会」として、各市担当者が業務の課題等を抽出し、情報交換を行った。参加者は草加市2名、蕨市2名、戸田市1名、川口市7名の合計12名であった。

報告は以上である。

奥ノ木会長 続いて、福祉・医療専門部会長、願います。

福祉・医療専門部会長

福祉・医療専門部会の平成29年度事業報告を申し上げる。

総会資料の6ページをご覧いただきたい。

視察研修として、5月24日に東京ビッグサイトで開催された「自治体総合フェア2017」の展示視察と「自治体カンファレンス」として行われたセミナー「災害時における高齢者・障がい者の避難支援対策についてー避難勧告等に関するガイドラインの改訂にともなう新たな展開ー」を受講した。参加者は4市職員10名であった。

また、研修会については、平成30年3月1日に戸田市上戸田地域交流センターにおいて、「薬物依存症からの回復に向けてできること」と題して、NPO法人埼玉ダルク施設長 辻本俊之氏を講師に迎え、実施した。参加者は18名で、3市の職員と2市の社会福祉協議会職員の参加があった。

いずれも、福祉や医療に関する課題をとらえた内容で、大変有意義なものであった。特に社会福祉協議会と合同で実施した研修会は、各市職員と社会福祉協議会職員の意見交換の場として意義深いものであった。

報告は以上である。

奥ノ木会長 続いて、防災・防犯対策専門部会長、願います。

防災・防犯対策専門部会長

防災・防犯対策専門部会から平成29年度の事業報告を申し上げる。

総会資料の6ページをご覧いただきたい。平成29年度は専門部会、視察研修及び研修会を実施した。

はじめに、専門部会については、7月24日、蕨市保健センターにて開催し、平成28年度事業報告及び歳入歳出決算、平成29年度事業計画及び歳入歳出予算についてそれぞれ報告を行うとともに、視察研修についての協議を行った。

また、防災部門と防犯部門に分かれ、各市の状況及び課題について情報交換を行った。参加者は川口市3名、戸田市3名、草加市3名、蕨市5名の計14名であった。

次に、視察研修については、11月24日に茨城県取手市にある周辺8市町が共同運営する県南総合防災センターを訪問し、地域防災拠点に係わる市町間の連携や施設の活用状況を視察するとともに、つくば市の防災科学技術研究所では、様々な研究施設の見学を通じて、最新の研究内容を学んだ。参加者は川口市4名、戸田市2名、草加市2名、蕨市4名の計12名であった。

また、12月22日には、東京都足立区役所危機管理課を訪問し、防犯カメラの運用や自転車盗対策など各種防犯対策について聞き取りをするとともに、各市の防犯施策等の情報交換を行った。参加者は川口市2名、戸田市2名、草加市2名、蕨市3名の計9名であった。

次に研修会につきましては、2月13日、蕨自治会館において開催し、各市が持

ち寄った防災に関する課題について意見交換を行った。参加者は川口市3名、戸田市2名、草加市2名、蕨市4名の計11名であった。

これらの事業を通じて、各市の防災・防犯に関する施策や共通課題についての相互理解が深まり、県南4市としての災害対応力及び地域防犯力の向上に寄与したものと考えている。

報告は以上である。

奥ノ木会長 最後に、地域情報化推進連絡会議会長、願います。

地域情報化推進連絡会議会長

地域情報化推進連絡会議の平成29年度事業について、ご報告を申し上げます。

総会資料7ページをご覧ください。はじめに、①「インターネットによる広域情報提供事業」及び②「ホームページリニューアル事業」について、昨年度は、県南4市まちづくり協議会のホームページ、防災情報マップ等に係る維持管理及び運用保守業務の委託業者を変更した。これに伴い、運用経費の削減ができただけでなく、ホームページのリニューアルも行った。

次に、③「一般財団法人全国地域情報化推進協会総会への参加」であるが、昨年度は平成29年6月14日に青山アイビーホールで開催された第1回総会に2名で参加した。総会では、平成28年度の実施事業、収支決算等について報告があり、全会一致で承認された。また、総会終了後には『改正個人情報保護法の最新動向』及び『地域活性化とシェアリングエコノミー』についてそれぞれ講演があった。

続いて、④「地域情報化推進連絡会議の開催」については、本年1月23日に戸田市にて第1回会議を開催した。まず、会議の議題として、1点目が県南4市まちづくり協議会ホームページの運営状況、2点目が社会保障・税番号制度についてであった。1点目のホームページの運営状況については、協議会事務局から、ホームページをリニューアルしたことによるコスト削減状況、それに伴う予算について説明があり、今後の運用について情報共有した。2点目の社会保障・税番号制度については、昨年11月に情報提供ネットワークシステムの本格運用が開始されたことに伴う課題や、「マイキープラットフォーム構想」の現状について、質疑応答を含めた意見交換を行うとともに、各市の取り組みについて情報共有を行なった。

平成29年度の事業報告については、以上である。

奥ノ木会長 以上で活動報告は終わった。引き続き、平成29年度歳入歳出決算の説明を事務局から願います。

議案第3号 「平成29年度歳入歳出決算の認定について」

事務局長 総会資料8ページをご覧ください。平成29年度歳入歳出決算について、説明させていただきます。

まず、歳入であるが、1款負担金については、運営費である負担金と、事業費で

ある特別負担金を合わせた248万2千円が、予算額どおり収入済みである。2款県支出金については、科目設定として、千円を計上したが、執行はなかった。3款繰越金については、平成28年度の決算剰余金39万6,699円を繰り越したものである。4款諸収入は預金利息である、

以上により、当初予算額288万円に対し、収入済額287万8,706円であった。

続いて、総会資料9ページをご覧いただきたい。歳出であるが、1款運営費は、総会をはじめとする、各種会議に要する費用や事務費であり、会議に係わる会場使用料・消耗品のほか、各種通知の郵送料などで、支出済額は、5万334円であった。次に、2款事業費でございますが、1節旅費は、全国地域情報化推進協会総会に2名が参加し、2,122円支出した。6節負担金・補助及び交付金は、5つの専門部会へ合計53万5,299円、地域情報化推進連絡会議へは、県南4市のホームページ管理運営費等として、124万164円、合計で、177万5,463円を支出した。

不用額約87万円は、1点目として、専門部会交付金が予算額89万5千円に対し、53万5,299円の執行に留まったこと、2点目として、地域情報化推進連絡会議交付金において、平成29年度10月にホームページを更新したところ、毎月の管理運営費が大幅に削減されたことにより、174万5千円の予算に対し約50万円の不用額が生じたことが要因である。

10ページには、それぞれの交付金の支出内訳を記載している。

9ページにお戻りいただきたい。以上、歳出合計は、当初予算額288万円に対して、支出済額182万7,919円であった。

これにより、下段の枠外にあるとおり、平成29年度歳入合計額287万8,706円から、歳出合計額182万7,919円を差し引き、105万787円を翌年度に繰り越すものである。

次に、総会資料11ページをご覧いただきたい。

広域連携事業等基金は、協議会の周年記念事業など、臨時的な事業の財源に充てるための基金で、平成29年度末残高は、233万486円となっている。

説明は、以上である。

奥ノ木会長 以上で説明は終わった。ただいま説明のあった平成29年度決算については、過日、本協議会の監事による監査を受けている。

ここで、監事である草加市の中村副市長から監査報告をお願いします。

中村監事 本協議会の監事として、監査報告を申し上げます。

去る平成30年4月11日に草加市役所において、平成29年度埼玉県南4市まちづくり協議会、歳入歳出決算について、諸帳簿その他の証拠書類を精査したところ、歳入歳出とも適正に処理されていたことを確認したので、これを報告する。

奥ノ木会長 それでは、議案第2号及び議案第3号について、審議をお願いします。
不用額が大幅額となった経緯について、もう少し説明をお願いしたい。

幹事長 平成29年度に、県南4市のホームページを新たに更新した際、一年間の維持費が大きく減額されたこと、及び専門部会への交付金の不用額が多かったことが主な要因である。

奥ノ木会長 ほかに、意見、質問等があればお受けする。

質疑応答・意見なし

奥ノ木会長 それではお諮りする。
両案について、承認いただけるか。

異議なしとの声あり

奥ノ木会長 異議なしと認め、議案第2号及び議案第3号は承認された。
続いて、議案第4号「平成30年度事業計画（案）について」及び議案第5号「平成30年度歳入歳出予算（案）について」は関連しているので、一括議題とし、協議会の運営については、事務局から説明を、専門部会の活動については、各専門部会の部会長及び地域情報化推進連絡会議会長から、それぞれ説明をお願いする。

議案第4号 「平成30年度事業計画（案）について」

事務局長 総会資料13ページをご覧いただきたい。
「議案第4号平成30年度事業計画（案）について」説明する。
1運営の（1）会議について、総会をはじめ、幹事会、幹事会・専門部会合同会議を、例年通り開催して参りたい。
続いて、2事業の（1）全体計画について、①「広域行政に関する情報の交換及び協議」は、当協議会の設立目的でもあり、引き続き取り組んで参りたい。②「専門部会における各種事業」及び③「地域情報化推進連絡会議における各種事業」についても、引き続き、各市担当部局間における情報交換、情報収集を密に行いながら、スムーズな広域行政運営に努めて参りたい。
最後に、④「その他協議会の目的達成に必要な事業」については、新たな広域課題が生じた際に、各市協力して研究を進め、課題解決に努めて参りたい。
事務局からの説明は以上である。

奥ノ木会長 続いて、教育文化スポーツ専門部会長、お願いする。

教育文化スポーツ専門部会長

平成30年度教育文化スポーツ専門部会の事業計画について説明する。
総会資料14ページをご覧いただきたい。

はじめに、①の「専門部会」については、2回の部会開催を予定している。7月と来年2月に各市の共通テーマを設け、意見交換を行っていく予定である。

次に、②の「視察研修」については、各市の職員によりスポーツ施設への視察研修を行う予定である。

次に、③の「少年野球教室」については、子どもたちがトップアスリートから直接技術指導を受けることで、技術の向上・大きな夢につながる企画として、昨年度同様に開催する予定である。

なお、日程及び詳しい内容等については、調整の上、決定して参りたい。平成30年度事業計画（案）の説明は、以上である。

奥ノ木会長 続いて、商工振興専門部会長、願います。

商工振興専門部会長

商工振興専門部会から平成30年度の事業計画（案）について申し上げます。

総会資料の14ページをご覧ください。

1点目として、専門部会を随時開催し、各市の商工振興策についての情報交換などを通じて、課題の共有を図って参りたい。2点目として、地域振興PRイベントは、11月3日に草加市の綾瀬川左岸広場において開催される「草加商工会議所まつり」の会場内において、各市の特産物の販売等を行うとともに、地場産業と県南4市まちづくり協議会のPRを行って参りたい。3点目として、特色あるまちづくりや活発な商工業振興施策を行っている市区町村等を訪問し、各市の商工施策の参考にするため、先進地への視察研修を予定している。

説明は以上である。

奥ノ木会長 続いて、都市計画専門部会長、願います。

都市計画専門部会長

都市計画専門部会から平成30年度の事業計画（案）についてご説明申し上げます。

総会資料15ページをご覧ください。

今年度は専門部会の開催を2回予定している。第1回専門部会においては、「都市経営の視点に立ったまちづくり」をテーマに講演会及び情報交換会を予定している。第2回専門部会においては、「景観行政のあり方について」をテーマに意見交換会等を予定している。

都市計画に関する具体的なテーマを基に意見交換をすることで、情報の共有を深めることができるものとする。

説明は以上である。

奥ノ木会長 続いて、福祉・医療専門部会長、願います。

福祉・医療専門部会長

福祉・医療専門部会の平成30年度事業計画を申し上げる。

総会資料の15ページをご覧いただきたい。

今年度は、視察研修及び専門部会研修会を予定している。視察研修については、5月16日から18日にかけて東京ビッグサイトで開催される「自治体総合フェア2018」の展示視察と「自治体カンファレンス」として行われる、『オストメイトってご存知ですか?』～オストメイト用トイレと災害時対応について～セミナーを受講する予定である。

専門部会研修会については、地域福祉に関わる先進的な取り組みについて、講師を招いた講演と、各市の状況や課題についての意見交換を11月頃に実施する予定である。

なお、この研修会は、昨年度も社会福祉協議会と合同で実施したもので、普段は交流の少ない市職員と社協職員が地域福祉について話し合う、貴重な情報共有の場とするものである。

今年度も、福祉行政や医療を取り巻く様々な課題の解決に向け、構成市の連携強化に努めて参りたい。

説明は以上である。

奥ノ木会長 続いて、防災・防犯対策専門部会長、願います。

防災・防犯対策専門部会長

防災・防犯対策専門部会から平成30年度の事業計画（案）について申し上げる。

総会資料の15ページをご覧いただきたい。

1点目として、各市の防災・防犯対策に関する情報交換などを通じて、課題の共有や対策の検討を行うため、専門部会を開催して参りたい。2点目として、防災・防犯対策の推進を図るため、県南4市の災害時の協力体制に関する意見交換会や研修会の開催のほか、先進的な事業展開を進めている行政機関あるいはライフライン企業等への視察を考えている。

説明は以上である。

奥ノ木会長 最後に、地域情報化推進連絡会議会長、願います。

地域情報化推進連絡会議会長

地域情報化推進連絡会議の平成30年度事業計画（案）について、説明する。

総会資料16ページをご覧いただきたい。

はじめに、①「インターネットによる広域情報提供事業」については、県南4市ホームページ及び防災情報マップなどのコンテンツの更新・充実を図って参りたい。

次に、②「一般財団法人 全国地域情報化推進協会への参加」については、地域情報化の普及促進、また情報収集のため、必要に応じ、参加して参りたい。

続いて、③「地域情報化推進連絡会議の開催」については、今後の地域情報化に

ついて、構成市関係者による情報交換や検討・協議を行って参りたい。

最後に、④「地域情報化の推進に係る先進市への視察等」については、先進市への視察を通じ、圏域における地域情報化の取組を推進して参りたい。

説明は以上である。

奥ノ木会長 以上で事業計画案の説明が終わった。引き続き、平成30年度歳入歳出予算案について事務局から説明をお願いする。

議案第5号 「平成30年度歳入歳出予算（案）について」

事務局長 総会資料17ページをご覧いただきたい。

議案第5号平成30年度歳入歳出予算(案)について説明する。

始めに、歳入について、1款負担金については、運営費負担金として8万円、事業のための特別負担金として135万円、合計143万円を計上しており、前年度と比べ、105万2千円の減額となっている。

これは、決算で説明したとおり、平成29年度に県南4市のホームページを更新し、管理運用コストが削減されたことが主な要因である。

資料の19ページに、各市の負担金を記載しているので、参照していただきたい。

資料の17ページにお戻りいただきたい。

2款県支出金は、科目設定である。3款繰越金については、平成29年度決算で説明したとおり、歳入歳出差し引き残金の105万円を、繰越金として、計上している。4款諸収入は、預金利息である。

以上 歳入合計額は、248万2千円で、前年度と比べ、39万8千円の減額となっている。

次に、資料の18ページをご覧いただきたい。

歳出であるが、1款運営費は、前年度と同額を計上している。2款事業費は、教育文化スポーツ及び商工振興の2つの専門部会に、研修視察旅費をそれぞれ20万円ずつ新たに計上するとともに、福祉医療専門部会についても、旅費2万円を計上したことにより、計42万円の増とした一方、地域情報化推進連絡会議について、ホームページ更新に伴い、143万5千円の減、及び節立てしていた旅費1万円の皆減を加え、計144万5千円の減とし、増減差し引き102万5千円の減額となり、162万5千円を計上している。

その他、予備費を加え、歳出合計額は248万2千円で、前年度と比べ、39万8千円の減額となっている。

説明は、以上である。

奥ノ木会長 以上で説明は終わった。それでは、議案第4号及び議案第5号について、ご審議をお願いする。ご意見、ご質問等があればお受けしたい。

旅費の増額理由について、幹事長よりもう少し詳細な説明があるか。

幹事長 平成30年度予算において、旅費に関し、視察に係る経費ということで、教育文化スポーツ及び商工振興の2つの専門部会において、それぞれ20万円を上乗せさせていただいた。これは、現地に行き、直接各市の状況を見聞することで、業務の参考にしていただきたいと考え、増額させていただいたものである。また、次回は、都市計画及び福祉・医療専門部会において、視察旅費の増額計上を予定している。

奥ノ木会長 各市とも視察については、昨今1泊して視察に行く機会が減ってきている。県南4市だけでも、他市の状況をつぶさに把握していただければと思い、旅費を計上させていただいたということである。ぜひ、活用していただきたい。ほかに、意見、質問等があればお受けする。

質疑応答・意見なし

奥ノ木会長 ないようなので、お諮りする。
両案については、ご承認いただけるか。

異議なしとの声あり

奥ノ木会長 ご異議なしと認め、議案第4号及び議案第5号は原案どおり承認された。以上をもって、本日予定していた議事はすべて終了した。この際、皆様から何かご意見などあったら、ご発言いただきたい。

質疑応答・意見なし

奥ノ木会長 ないようなので、以上をもって、議長の任を解かせていただく。本日は、長時間にわたり審議いただき、感謝申し上げます。

(14:59)

4 来賓挨拶 埼玉県南部地域振興センター 横田所長
(15:03)

5 閉 会 副会長 菅原 戸田市長 (次回開催市)
(15:05) 閉会

以上